

第三者評価結果表

施設名 救護施設 下関梅花園

IV 良質な個別サービスの実施(救護施設)

【 評価項目 】		a	b	c	Na	
A-1 利用者の尊重						
(1) 利用者の尊重						
1	1	コミュニケーション手段を確保するための支援や工夫がなされている。	○		様々な取組や工夫を行い利用者とのコミュニケーションを図っている。そのための個別支援計画も策定され、それに基づいて、利用者一人一人の状態に応じた支援をしている。自己表現がスムーズに出来ない利用者の意思を出来るだけ正しく理解しようとしていることも理解できたので、a評価とした。	
2	2	利用者の主体的な活動を尊重している。		○	地域で働く利用者の送迎をしたり、利用者と職員による座談会を設けるなど、利用者の主体的な活動を誘導しているものの、利用者による主体的な自治会の設置には至っていない。今後の更なる取り組みを期待し、b評価とした。	
3	3	利用者の自力で行う日常生活上の行為に対する声かけや見守りと支援の体制が整備されている。		○	体制は整備されているものの、職員の判断のみで支援を決定することが多い。利用者及び必要に応じての家族との話し合いは十分に行われているとは言えないと判断し、b評価とした。	
4	4	利用者のエンパワメントの理念に基づくプログラムがある。		○	利用者の特性を把握し、一部の利用者には施設内外での活動プログラムが用意されているものの、利用者全員への十分な情報提供や学習、体験の機会は用意されていないと判断し、b評価とした。	
(2) 利用者の権利擁護						
5	1	利用者の権利を擁護する具体的な取組が行われている。		○	定められたマニュアルに基づき支援を行い、職員に対する研修を実施している。しかし、職員への周知が不十分なことと、虐待が行われた場合の対応が明確にされていないことなどから、権利擁護における具体的な取組は不十分と判断し、b評価とした。	
(3) 家族との連携・交流						
6	1	家族との連携・交流が積極的に行われている。		○	盆踊りの案内状と一緒に、年1回、近況報告を行なっている。また、家族からの相談があれば対応している。しかし、それ以上の施設側からの働きかけはなく、家族との連携・交流が積極的に行われているとはいえないと判断し、b評価とした。	
(4) 生活環境づくり						
7	1	利用者が過ごしやすい環境づくりに取り組んでいる。			○	建物が老朽化しており、しかも4人部屋で1人あたり5㎡という狭い空間である。プライバシー保護の観点等からも、現在の施設環境は利用者が過ごしやすい環境とはいえず、利用者の希望に沿った環境を提供することはできていないと判断し、c評価とした。

A-2 日常生活支援					
(1) 食事					
8	1 サービス実施計画に基づいた食事サービスが用意されている。	○			栄養士と看護師連携の下、利用者一人一人の栄養量・食事形態を個別支援計画に明示し、それに基づいたサービスが提供されている。さらに、代替食も提供されていることから、a評価とした。
9	2 食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本として美味しく、楽しく食べられるように工夫されている。	○			嗜好調査や座談会で出された希望を考慮した食事を提供していることと、選択食やバイキングも実施している。昼食を共にした利用者さんも全食され、「この食事は美味しい」と満足されておられたことから、a評価とした。
10	3 喫食環境(食事時間を含む)に配慮している。		○		食事中にBGMを流すなど、利用者がゆったりした気分で食事ができるよう配慮している。また、障害の状況・介助の要否も勘案して、利用者が安心して食事ができるよう配慮している。しかし、利用者と一緒に昼食を共にしたが、利用者にはほとんど会話が無く、職員が壁伝いに立って喫食状況を観察しておられ、硬い雰囲気であった。もう少し、和やかで、ゆったりとした雰囲気作りへの工夫が欲しいと思われたので、b評価とした。
(2) 入浴					
11	1 入浴は、利用者の障害程度や介助方法など個人的事情に配慮している。	○			個別支援計画に基づき、看護師・介護職の連携の下、利用者個々の身体状況や障害程度等に合わせた入浴を実施している。事故の懸念のある利用者については介助を行なうなど、個人的事情に配慮していると判断し、a評価とした。
12	2 入浴は、利用者の希望に沿って行われている。	○			浴室が一カ所という、ハード面で制約がある中、週3回の入浴を基本とし、夏場はシャワー浴を含め週6回実施し、大量の発汗時や失禁時にもシャワー浴を行っていることから、a評価とした。
13	3 浴室・脱衣場等の環境に配慮している。		○		施設が古いこともあり脱衣場に空調設備がないため、冬はストーブと夏は扇風機で対応し、安全面では手すりの設置やシャワーチェアを使用するなど、出来る限りの工夫、配慮をしている。プライバシー保護に関しても入口に暖簾や衝立を設置して対応している。しかし、施設の構造・設備上の改善が課題と判断し、b評価とした。
(3) 排泄					
14	1 排泄介助は利用者の障害程度や介助方法など個人的事情に配慮している。		○		排泄マニュアル等に基づき、各利用者の状態に応じた介助を行なっている。排便チェック表を活用している。トイレでの排泄が困難な利用者については、居室にポータブルトイレを設置して対応しているが、使用時のプライバシー保護については不十分であると判断したので、b評価とした。
15	2 トイレ環境に配慮している。			○	トイレの清掃は、利用者が当番制で毎日行なっている。しかし、施設が古く、部分的には計画的に改修されてはいるものの、構造・設備・備品・採光等、トイレ環境への配慮は為されていないと判断し、c評価とした。
(4) 移乗・移動					
16	1 移乗・移動介助は、利用者の身体状況や介助方法など個人的事情に配慮している。	○			個別支援計画に基づき、独歩の方、歩行器・車いすを使用する方に、それぞれ自立支援を目標とした支援を実施していることから、a評価とした。

(5) 衣服				
17	1	利用者の個性や好みを尊重し、衣服の選択について支援している。	○	自分で選択できる利用者にはその意思を尊重し、それが難しい利用者には買い物支援等を行ない、選択がスムーズにできるよう配慮している。また、利用者へのヒアリングで「小遣いをためて衣類を買うことが楽しみ」との声が聞かれた。これらにより利用者を尊重した支援が行われていると判断し、a評価とした。
18	2	衣類の着替え時の支援や汚れに気づいた時の対応は適切である。	○	利用者の意思を尊重した対応が適切に行われていることが、利用者へのヒアリングにおいて確認できた。また、施設見学の際、利用者は身なりを整え、清潔な衣類を着用しておられたことから対応は適切であると判断し、a評価とした。
(6) 理容・美容				
19	1	利用者の個性や好みを尊重し、選択について支援している。	○	利用者の整容については、清潔の保持を基本とし、整容マニュアル及び個別支援計画に基づき対応している。希望者には化粧品や整髪剤の購入支援も行っていることから、支援は適切に行われていると判断し、a評価とした。
20	2	理髪店や美容院の利用について配慮している。	○	月1回、施設に理容師が訪問し、利用者の整髪を行っている。また、施設外での整髪希望者には、職員が予約・送迎・同行支援を行っているなど、配慮された支援が行われていると判断し、a評価とした。
(7) 睡眠				
21	1	安眠できるように配慮している。	○	4人部屋でいびきがうるさいなどの苦情もあり、安眠への配慮は十分とはいえない。しかし、その環境の中にあつて、容態の急変などの緊急の場合には、静養室や寮母室を使用するなど、対応に工夫が見られ、b評価とした。
(8) 健康管理				
22	1	日常の健康管理は適切である。	○	健康管理マニュアルが整備され、嘱託医との連携の下、健康管理は適切になされている。又、健康管理に関する記録もきちんと整備されていることを確認したので、a評価とした。
23	2	必要な時、迅速かつ適切な医療が受けられる。	○	健康面に変調があつた場合、及び、病院受診に関するマニュアルが整備され、嘱託医・協力医療機関との連携も密に取れている。さらに、休日当番医の情報も事務所に掲示し、速やかに対応できる体制が整備されていることから、a評価とした。
24	3	内服薬・外用薬等の扱いは確実に実行されている。	○	看護師のヒアリング及び記録から管理体制が整備され、確実に実施できていることを確認した。また服薬に誤りがあつた際は都度、服薬方法の改善を行うなど、対応は適切に実践されている。これらのことから、a評価とした。
(9) 余暇・レクリエーション				
25	1	余暇・レクリエーションは、利用者の希望に沿って行われている。	○	利用者の意向を把握する取組は行われているものの、地域の社会資源の活用や、ボランティアを受け入れての活動は積極的に行われてはいないと判断し、b評価とした。
(10) 外泊、外出				
26	1	外出、外泊は利用者の希望に応じて行われている。	○	外出・外泊希望時にはマニュアルに基づき、利用者本人による計画をもとに、安全確保に留意しつつ、希望に沿うよう支援していることを確認したので、a評価とした。

(11) 所持金・預かり金の管理等					
27	1 預かり金について、適切な管理体制が作られている。		○		貴重品の管理については、利用者貴重品管理マニュアルに基づき適切に管理している。しかしながら、金銭の保管場所は施設であり、自己管理ができる人に対する保管場所や設備の提供に関しては不十分と判断し、b評価とした。
28	2 新聞・雑誌の購読やテレビ等は利用者の意志や希望に沿って利用できる。	○			利用者の要望を取り入れ、新聞・雑誌の購読やテレビ視聴を行っている。個人購入の要望にも応えていることや、利用者へのヒアリングにおいて月2回の図書館利用は楽しみであるという声を聞いたことなどから、利用者の意向に沿った支援が実践されていると判断し、a評価とした。
29	3 嗜好品(酒、たばこ等)については、健康上の影響等に留意した上で、利用者の意志や希望が尊重されている。		○		健康上の問題や集団生活であることから、アルコールは禁止している。喫煙については喫煙本数を定めている。ただ、喫煙環境が適切に整備されていないことから、喫煙者本人以外の他の利用者への健康上の配慮や火災の危険性が懸念されると判断したので、b評価とした。
A-3 自立支援					
(1) 訓練・作業の実施					
30	1 利用者の状況に応じて、訓練又は作業等に参加する機会を提供している。		○		一部の利用者には地域のリネン工場で職場体験という形で、作業の機会が提供されているが、園内での作業や訓練の提供は不十分である。利用者の心身の状況に応じ、必要な訓練や作業の提供は利用者の生きがいにも影響すると思われるので、今後のより具体的な取り組みを期待し、b評価とした。
(2) 地域生活への移行					
31	1 利用者の状況に応じ、地域生活への移行についての支援を行っている。		○		マニュアルを整備し、個別支援計画にも掲げているが、利用者に対する啓蒙・啓発活動が不足していることと、関係機関との連携が十分に図られていないことから、b評価とした。利用者へのヒアリングで、「一人で家を借りて暮らしたい」という声が聞かれた。今後の支援体制の整備、支援の充実に期待したい。